

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要(集計、分析、評価の方法)

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、自己評価として取締役会の全メンバー(取締役6名及び監査役3名)に対するアンケートを実施し、当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。

【実施時期】2018年2月から3月まで

【回答者】取締役及び監査役(社外役員を含む、計8名)

【内容】

方式：無記名式によるアンケート方式

設問項目：取締役会の役割・機能、取締役会の規模・構成、取締役会の運営、監査機関との連携、経営陣とのコミュニケーション、株主・投資家との関係

回答・集計：常勤監査役が回収後、担当部署にて集計を実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、当社の取締役会はその役割期待を適切に果たし、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- (1)取締役会では適時・適切に報告・議論される仕組みは整備されており、適切に運営されていること
- (2)社外取締役と監査役会とは十分な連携をとり、経営への監督機能を果たしていること
- (3)取締役会の規模・構成(社内取締役4名、社外取締役2名、常勤監査役1名、社外監査役2名)は適切であり、専門性の高い経験・見識を持つ役員がバランスよく配置されていること

一方で、今後改善すべき点として以下の点が挙げられました。

- (1)取締役・監査役への継続的なトレーニング機会の提供
- (2)後継者計画についての議論の必要性
- (3)社外取締役による監督機能の更なる強化

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果は、2019年3月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題について引続き取締役会で議論していくことと致しました。また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。

以上